

自治会町内会長 各位

旭区地域振興課長

**広報紙「あさひ」の配布について（情報提供）**

日頃より旭区の子ども会活動にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、旭区子ども会育成連絡協議会では毎年、広報紙「あさひ」を発行しております。この度、旭区子ども会育成連絡協議会の活動について、広く自治会・町内会長の皆様にご案内するため、送付させていただきます。旭区子連の一年間の活動や各地区の子ども会の活動が掲載されておりますので、ご一読いただければ幸いです。

今後とも、温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※旭区子ども会育成連絡協議会（会長：嶋崎伸子）とは

子ども会並びにその指導者相互の連絡協調により、子ども会活動を振興し、子どもの健全育成をはかる事を目的として設立され、旭区内子ども会及びその指導者並びに、ジュニア・リーダースクラブ会員で組織されています。

担当：旭区地域振興課生涯学習支援係

真栄田・横田

TEL 045-954-6099

# あさひ

旭区子ども会育成連絡協議会

2023年3月31日発行

## リスクウォッチて何？



## 危機監視とは？

大切な存在を守りたい！

でも本当に守れますか？

# 命を守る！ RISKWATCH!

自分の命は自分で守る子どもに育てるには？

いっぱい失敗（チャレンジ！）しましょう！

失敗（チャレンジ！）させてあげましょう！

Q1 もし服に火がついたら？



Q2 ひとりのとき  
火事だ！！  
どうする？



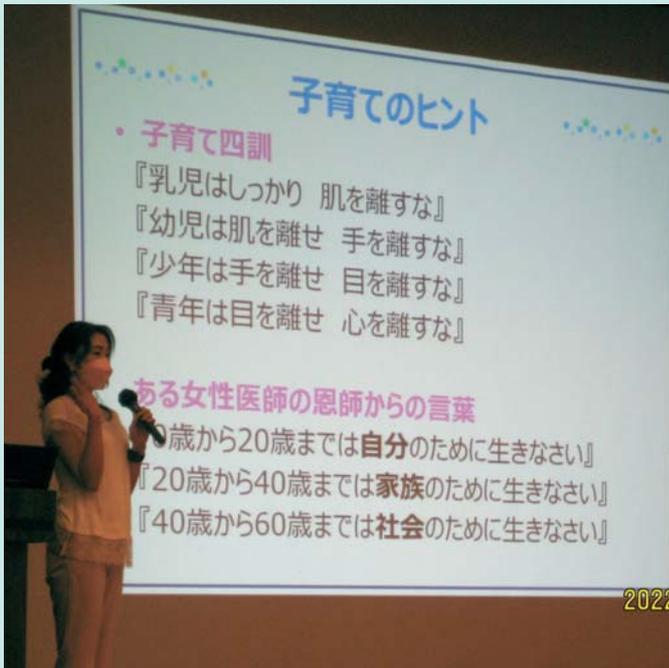
## 講師 奥田悦子氏

(一般社団法人 RISKWATCH 副理事長)  
「アメリカ式危機管理」主に子どもへの教育について学び、リスクウォッチのプログラム担当として、理事長と共に数多くの講演・講習に参加している。

『リスクウォッチプログラム』大切なものを守るには』と題して育成者研修会を行いました。

『自分の命は自分で守る』防災防犯を体験を通して学ぶこと、また、子育てのヒントも教えて頂きました。

ファイヤーチームの子どもたちによるパフォーマンスを見て子どもがひとりで危機に対処し、生き抜くことができる力を身につけさせるのが大人の役割だと思います。



### Q1 もし服に火がついたら？

## Stop, Drop, And Roll

- 止まれ、倒れろ、転がれ
- もし洋服に火がついたら？
- キャンプファイヤーに限らず、火遊びや日常生活で起こったときに自分で対処できるように教える。
- Stop! - 火の勢いを止め、
- Drop! - 倒れることにより接地面を増やし、
- Roll! - 転がることで消火する。
- Cover Your Face! - 顔面に上がる火を防ぐ役割がある。

### Q2 ひとりのとき火事だ!! どうする？

## Great Escape (大脱走)

1. 寝室のドアは必ず閉めて寝る
2. 煙感知器の音が聞こえたら身を低くしてドアの前へ行く
3. ドアを触り(手の甲)、もしドアが暖かければ、そのドアは使わずに他の逃げ口へ
4. 避難したら家族との待ち合わせ場所に向かう
5. そこに留まり決して家へは戻らない

# 旭区子ども会書道展

日時 令和5年1月24日(火)～1月30日(月) 場所 区役所ろびーぎゃらリー

各地区より85点参加  
入賞者 35名

1年

やすもと ゆり 希望が丘南地区  
おの みれい 希望が丘南地区

2年

田なべ ゆりあ 希望が丘南地区  
まき野 光き 希望が丘南地区  
角田 花な子 方騎が原地区  
かたの はるま 万騎が原地区

3年

小金井 悠 成 鶴ヶ峰地区  
岩 せ まひろ 鶴ヶ峰地区  
長谷川 芽 衣 希望が丘南地区  
谷 地 めぐみ 希望が丘南地区  
山 田 あおい さちが丘地区  
今 藤 瑛 大 さちが丘地区  
森 脇 あやみ 万騎が原地区  
南 村 真衣香 二俣川NT地区

4年

滝 澤 美 春 鶴ヶ峰地区  
長谷川 咲 希 希望が丘南地区  
牧 野 祥 己 希望が丘南地区  
鬼 木 寧 々 希望が丘南地区  
阿 部 桜 介 旭中央地区  
皆 川 鈴 音 旭南部地区

5年

小金井 康 成 鶴ヶ峰地区  
鈴木 香 衣 希望が丘南地区  
渡 木 邊 杏 希望が丘南地区  
片 山 樹 乃 さちが丘地区  
小林 悠 乃 万騎が原地区  
片 野 彩 澄 万騎が原地区  
堀 内 羽 澄 二俣川NT地区  
神 鳥 咲 音 旭中央地区  
皆 川 詩 音 旭南部地区

6年

塩 野 友 彩 鶴ヶ峰地区  
伊 藤 友 大 彩 鶴ヶ峰地区  
長谷川 大 莉 奈 希望が丘南地区  
三 宅 心 美 希望が丘南地区  
半 田 優 衣 希望が丘南地区  
細 田 晃 史 旭南部地区

横浜市子ども会書道展入賞者 2名

横浜市会議長賞

5年 小林 悠 乃

公益財団法人神奈川県少年少女育成指導協会理事長賞

3年 山 田 あおい



皆さんよく頑張りました。  
おめでとうございます。



# 子ども会

## 新しい競技との出会い

旭中央地区 紀田 裕子

今年度は、コロナ禍以前のスケジュールで「親子ふれあいスポーツ大会」を開催することが出来ました。スポーツ推進委員さん、青少年指導員さんの指導のもと、毎回多様なゲームに挑戦し、親子ともども楽しい時間を過ごすことができました。

特にポッチャやモルックは、名前だけは知っていても、やってみるのも、ルールを知るのも初めてでした。どちらも単純な様でいて意外に奥深く、相手チームとのかけひきが必要になります。かといって、大人だから上



手くいくというものでもなく、子ども達の方が器用に狙ったところにボールを置けたりして、大変盛り上がりました。他にもグラウンドゴルフ、公式ルールによる輪投げなど、普段なかなか出来ない競技をさせて頂きました。

子ども達にとっても、身体を思いっきり動かし、チーム一丸となって楽しんだことは、よい経験になったのではないでしょう。今後もぜひ継続していけたらと思います。



## 初めてのモルック

旭南部地区 寺舘 裕美

昨年11月にモルックというイベントに参加しました。モルックとはフィンランド発祥のスポーツで、木製のピンを倒し点数を競い合います。1〜12のピンを倒した数だけ足していくのですが、1本しか倒れなかった時はその倒したピンの数字が得点、ピタリ50点にならないと25点に戻ってしまうなど、細かいルールがあるため小さい

子には難しいのかな?と心配していたのですが小学二年生の息子と中学二年生の娘はあっという間に理解して一生懸命足し算して「あと何点だ。あのピンを倒せばいい。あれとあれを倒せばピタリだよ。」など大盛り上がりでした。力加減やコントロールが難しいですが、頭も体も使ってみんなで笑って、とても楽しかったです。

## 旭区モルック大会

令和5年2月4日(土)旧若葉台西中グラウンドにおいて、「旭区大なわとび大会」に変わって、「旭区モルック大会」を実施いたしました。

各地区より200名ほどの参加で盛り上がりました。ブロックごとに対戦し若葉台地区が優勝しました。



# 思い出つくろう

## 対策万全!! 夏祭り

鶴ヶ峰地区 山中 知佳

今年度若竹子ども会では、コロナ禍で中止が続いていた夏祭りを開催しました。感染対策を万全にした上で開催するにはどうしたらいいのか、試行錯誤し、屋台形式で楽しんでもらうことになりました。

まずはくじ引き。色々な景品を用意したので、景品の前でどれにしようかな? これにしよう!と、みんな嬉しそうに考えていました。

次に千本引き。テーブルを使って、簡易的なものを作りました。大物を釣り上げたいと、引っ張る紐をこれにしようかと、何度も選び直していました。小さいお菓子が釣れても喜んでくれました。最後にスーパールすくい。しかし新型コロナウイルスの第七波が予想

されており、滞在時間を減らすために、ポイとスーパールポウルを袋に入れてお持ち帰りに。家のお風呂でやりました!と嬉しそうに報告してくれた子どももいました。

町内会からは、袋にたっぷり入ったお菓子のお土産もあり、帰る頃には両手いっぱい。

楽しかった!と言いながら帰る子どもの姿を見ると、不安ながらも開催して良かったと思うことができました。

滞在時間は一人五分ほどという、短時間の夏祭り。BGMにお囃子を流したり、役員が法被を着たり、雰囲気はとも楽しい夏祭りでしたが、盆踊りや出店が沢山ある、いつもの賑わった夏祭りを早く経験させてあげたいです。



## 三世代輪投げに参加して

万騎が原地区 五年 佐々木 彩花

私は、11月に三世代輪投げに初めて参加しました。最初は、お祭りの様な輪投げを想像していましたが足を床からはなしてはいけないなどのルールがあったりと、スポーツをするような緊張感がありました。

三世代9人チームで出場し、

1人9本の輪を連続で投げて、入った的ぼつこの点数の合計で競っていきます。私は、最初の試合では、補欠のため見学でしたが、祈るような思いで応援していました。そうしたら思いが叶って勝ち進むことができました。いよいよ私の出番が来ました。私は、たくさん点が入るように集中して投げました。まんぞくいく点数が入りました。みんなと協力してなんと、また勝ち進むことができました。最後は決勝戦になりました。



負けてしまいました。みんな協力して準優勝を取ることができました。まさか、ここまで勝てると思わなかった嬉しさ、世代のちがう方々と協力する楽しさを体験する事が出来ました。参加してとても楽しい思い出が出来ました。

# 子どもは地域の宝物

## みんなで灯そう希望の光

希望が丘南地区 堀 香

昨年引き続き「みんなで灯そう希望の光」と題したオリジナルランタン作りを開催しました。各家庭に配布したキャンドルを使い、思い思いのランタンを作る催しです。

今年度は、久々に「ふくし祭り」が善部小体育館で開催され、その会場でランタンを展示することが出来ました。

ふくし祭りでは、子ども達のお楽しみゲームなどもあり、親子連れや、お友達同士で参加してくれた子ども達も多く、ランタンを出品してくれた子や、そのお友達が、一緒に作品を見たり、写真を撮ったりと楽しんでくれている様子が見られました。

作品と一緒に楽しむ場を設けて頂けたことは、子ども達にとって良い思い出になったのではないかと思います。少しずつでも、この様な機会が増えて欲しいと思います。



## クリスマス会

二俣川NT地区 一年 あさのこうた

ぼくが一ばんたのしかった子ども会のぎょうじは、クリスマス会です。

さいしょに、「名まえビンゴ」をしました。9マスにみんなの名まえを書いて、一人一人じゅんばんに名まえをいってきます。どうじにビンゴになった子がいたとき、六年生のお兄さんは、もう一人の子に「いのしょうひんをゆずってあげていました。ぼくは、かっこいいなとおもいました。つぎに、「なんでもバスケット」をしました。どきどきしたけれど、たのしかったです。

さいごに、「ビンゴ」をしました。ぼくは、ビンゴになるまでじかんがかかってしまったけれど、おねえさんたちが、「だいじょうぶだよ。」といってくれました。

ぼくも、六年生になったら、みんなにおしえてあげたりゆずってあげたりできるようになりたいです。

## コロナ禍三年目の活動

さちが丘西部子ども会 富樫 真弓

コロナ禍三年目となる令和四年度も、コロナの感染状況に翻弄される一年となりました。

イベント開催を検討する際も数カ月先のイベント開催時の感染状況を予想した上で考えなくてはならず、イベントを楽しむにしている会員方の気持ちと、感染リスクの両方を鑑みて判断することは、とても難しいことでした。

けっきょく令和四年度もほとんどのイベントは中止、変更となってしまいましたが、制限のある中でも工夫して会員の方に楽しんで頂ける様なイベントが出来たことは良かったと思っています。

令和五年度はコロナの制限も緩和されると思います。以前の様な活動が出来ることを願っています。



区子連では、単位子ども会に協力していただき毎年赤い羽根共同募金活動をしています。

この広報誌は、赤い羽根共同募金の活動助成金により発行させていただいております。

皆様のご協力に感謝いたします。